生徒に見られるつまずき

　登場人物の行動描写から心情を的確にとらえることができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　異なる課題に対する考えを比較することで、様々な観点から作品の主題について考えられるようにする

指導事例集ｐ．５１

１　学年・単元名　第３学年　関係を解く

『故郷』（読むこと）

２　単元目標

登場人物の行動描写から心情を的確にとらえること。

３　単元の内容

・全文を通読し、感じたことや考えたこと、気になった一文など、初発の感想をノートに書き、その後、意見交流をする。

・登場人物とその関係を把握し、あらすじや漢字・語句の確認する。

・冒頭の場面から、「私」が感じた故郷の雰囲気や「私」の心境をとらえる。

・故郷の人々の過去と現在をとらえ、ルントーと「私」の関係の変化について考える。

・３つの課題について考え、話し合うことで「魯迅」が伝えようとしたことをつかむ。

資料：活動の様子、ワークシート例

　 ・社会の中で生きる人間の姿について感じたことや考えたことをまとめる。

資料：生徒作文

４　本時の目標

３つの課題について考え、話し合うことで「魯迅」が伝えようとしたことをつかむ。

５　本時の展開（２時間扱い）　**太字はつまずきに対する手立て**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 生徒の活動 | 指導上の留意点 |
| 導  入 | １ 前時の学習を振り返る。  ２　音読をする。   1. 第１場面（帰郷の船中）〜第３場面（ルントーの思い出の回想）の「この少年がルントーである。」までを全体で音読する。 2. 第６場面（離郷の船中）の「希望という考えが」〜最後までを全体で音読する。 3. 第６場面（離郷の船中）をペアで音読する。 4. 最後の段落「まどろみかけた」〜最後を全体で音読する。　など   ３　本時の学習目標と進め方を確認す  る。  〇本時（２時間計画）の学習目標  ３つの課題について考え、話し合うことで「魯迅」が伝えようとしたことをつかむ。 | ○故郷の人々の過去と現在、ルントーと「私」  の関係の変化について分かったことを振り  返らせる。  ○注目すべき箇所を繰り返し音読させること  で考えるヒントを与える。  ○指示をテンポよく出すことがポイントとな  る。④は「念のために」などの声かけを添  えながら、繰り返すとよい。  ○範読、個人、ペア、全体、部分の繰り返し  音読など、教室の様子を見ながら、たっぷり取り入れる。  ○本時の学習目標を確認させ、ノートに書か  せる。  資料：活動の様子、ワークシート例 |
| 展  開 | ４　複数の視点から作品の主題に迫る。  （３人グループを基本とする。）   1. ３つの課題から分担を決める。 2. 分担した課題について考え、読み取ったことをワークシートに記入する。   《選択課題Ａ》  登場人物の関係性や変化から読み解く。  ・**ワークシートに登場人物の相関図を作り、人間関係を整理しながら明らかになることをまとめる。**    《選択課題Ｂ》  **第３場面と第６場面に登場する金色の丸い月の照らすものから考える**  　　・２つの「金色の丸い月」の下に映し出された光景から、作者の思いをワークシートにまとめる。  第３場面（ルントーの思い出の回想）  ・思い出の中の「月」  　紺碧の空に金色の丸い月　 突然脳裏に不思議な画面  　30年前のルントー　 　 海辺の砂地 すいかやチャー  ルントーの心は神秘の宝庫　　美しい故郷  第６場面（離郷の船中）  ・故郷を離れる私が見た「月」  紺碧の空に金色の丸い月 海辺の広い緑の砂地  まどろみかけた私の目に  《選択課題Ｃ》  **「ルントー」の望むものと「私」の望むものを比較から考える**  ・それぞれの望むものを明らかにし、比較しながら、見えてくるものをワークシートにまとめる。   1. 同じ課題の班で考えを交流する。 2. 異なる課題の者で班を作り、それれの課題について考えを交流する。 3. 元の同じ課題の班に戻り、異なる　　　課題の班から得た考えと、それに対して自分が考えたことを交流する。   ５　グループの考えをまとめ、発表し合  う。  　・発表者の意見を聞き取り、ノートに  メモをする。 | ○３つの視点から学習課題を設定する。  ○異なる課題に対する考えを比較し、共通点  を考えさせる。  〈今回の学習で考える３つの課題〉  　Ａ 登場人物の関係性や変化から読み解く  　Ｂ 第３場面と第６場面に登場する金色の丸い月の照らすものから考える  Ｃ 「ルントー」の望むものと「私」の望むものを比較から考える  ○繰り返し丁寧に文章を読ませ、ワークシートに書き出すように助言を行う。また、進み具合に応じて考えるヒントを与える。  ○人間関係の変化に着目させる。  　・作品中に主要な人物が何人か登場する場  　　合、それぞれの人物には異なった設定が  　　されていることが多い。  　・人間関係の変化をとらえ、その背景や理  由を考えること主題に迫ることができ  る。  ルントーの変化ルントーの変化  思い出の中のルントー  再会した現在のルント  ヤンおばさんの変化  ホンルとシュイションの関係　など係 など  思い出の中のルントー  再会した現在のルント  　　 ヤンおばさんの変化  　　 ホンルとシュイションの関係 など  《選択課題Ｂ・Ｃ》  ○「どちらにも共通するもの」と「共通しな  　いもの」を整理し、違いを明らかにしなが  　ら、作者の思いに迫らせる。  ○それぞれの望むものの違いと共通点をワークシートにまとめさせる。  ・ルントー望んだもの  香炉と燭台→偶像崇拝  ・私の望んだもの  若い世代が新しい生活を持つこと  希望＝手製の偶像にすぎない？      ○常に作品の主題（作者が伝えようとしていること）が何なのかを考えながら、交流するように指示する。  ○**元の班に戻って説明する際には、異なる課**  **題での交流で出た意見をそのまま伝えるのではなく、共通点をまとめたり、自分の考えを付け加えたりするように指示する。　（つまずき解消に向けた指導の工夫）**  ○「魯迅」が読み手に伝えようとしたことに  　ついて、グループの考えをまとめさせる。  ○グループの考えを発表させる。  ○他のグループと共通している考えや、交流  　の中で新たに考えたことなどを意識して説  明するようにさせる。 |
| まとめ | ６　本時の学習の振り返りをする。  ・「魯迅」が伝えようとしたことについて考えたことをまとめる。 | ○本時の振り返りをさせる。  ・自分がどういうことを考えたか、自分の学  びを整理し、振り返らせる。 |